

復

ヨコ...細い
タテ...太い

書き出しは
すべて45度で止まり
筆を立てる

横画は右上がり6度で
同じ方向、同じ間隔、
同じ太さ

聞

啼

鳥

聲

九成宮醴泉銘(唐・欧陽詢)

倣書で書いています
字形は、背勢

点画を互いにそり合った
形に書くこと
厳密で切れ味鋭い筆法
直線的

また、復た啼鳥の声を聞く

小鳥のさえずりも耳にする時節

(王維の詩より)